

# 防犯標語

子どもを犯罪から守る1つの方法として、標語を繰り返し教え、習慣づけることによって、子ども自らに自分の身を守らせようという取り組みがある。

## 「つみきおに」

警察庁が考案した、子どもを犯罪から守る合言葉である。

- 「ついていかない」…知らない人に声をかけられてもついて行かない。
- 「みんなと、いつもいっしょ」…1人で遊んだりどこかへ行ったりしない。公園のトイレなどに行くときも、友達と一緒に行く。
- 「きちんと知らせる」…出かけるときや何かあったときはきちんと知らせる。下校中にあやしい人に声をかけられたときなどは、ついて行かないことはもちろん、あった事を家の人や学校の先生に知らせる。
- 「おおごえで助けを呼ぶ」…知らない人に連れて行かれそうになったら大声で助けを呼ぶ。
- 「にげる」…こわいと思ったら、すぐに逃げる。

## 「いいゆだな」

子どもが1人で留守番をする前の心構えをまとめたキーワード。セキュリティ会社のALSOCが考案。

- 「いえのカギを見せない」…ランドセルやかばんにつけて鍵を持ち歩くと、鍵が見えてしまい、これから留守番をすることが分かってしまう。首から鍵をさげる場合は、洋服の中に入れる。
- 「いえのまわりをよく見る」…家に入るときは、周囲をしっかりと確認してから鍵を出す。鍵で開けているところを見られたら、1人で留守番することが分かってしまう。
- 「ゆうびん受けをチェック」…郵便物がたまっていると、「留守が続く入りやすい家」と見られてしまい、留守番中の子どもに危険をまねく可能性が生じる。
- 「だれもいなくてもただいま」…「家に家族か誰かがいる」とカムフラージュするために、誰もい

なくても大きな声で「ただいま」と声を出して家に入るように教える。

- 「なかに入ったらすぐに戸締り」…家に入った時点でほっとしてしまい、鍵を閉め忘れる子どもがいる。家に入ったら、まず玄関の鍵、続いてチェーンを施錠するように習慣づける。

## 5つの約束

子どもの誘拐防止のために「5つの約束」を守らせようという取り組みが各県警にある。「5つの約束」とは、概ね次のようなものである。

1. 1人で遊ばない。
2. ついて行かない。
3. 大きな声で助けを求める。
4. 行き先を伝える。
5. 知らせる。

「5つの約束」を子どもになじみやすくするために、歌やゲームで身につけさせている県警もある。

下記のアドレスのうち、徳島県北島町では歌詞と譜面を閲覧でき、静岡県警では歌の視聴と歌詞の閲覧が可能である。また、大阪府警では、クイズ形式で「5つの約束」が身につくようになっている。

<http://www.police.pref.tokushima.jp/04osirase/song/sheet.pdf> (徳島県北島町)

<http://www.police-ch.jp/yourtown/005/005097.php> (静岡県警)

<http://www.police.pref.osaka.jp/05bouhan/anzen/taisaku/quiz/index.html> (大阪府警)

## その他の標語

警視庁が募集し、入選した作品には次のようなものがある。

### ・子どもの被害防止対策

「声かけて 地域で守る 子どもたち」

### ・少年を取り巻く環境浄化対策

「伸び伸びと 子どもが暮らせる 街づくり」

広島県警が募集し、受賞したのが次の標語である。

最優秀賞「守ろうよ！あの子もこの子もみんなの子」

優秀賞 「見のがすな！小さな犯罪 地域の目」

優秀賞 「広げよう！安全・安心 地域の輪」